

ここまで考えてみたい書の本質

～史上最高の書のお手本、蘭亭序を実例として話します～

1. 習字と書道の決定的な違い「筆の開度 10%と 100%」
お習字をすると言われるけれど
2. 四角の世界が基本、だけど…
文字のシルエット、偏と旁の比率を考える
3. 線の中に力がこもるように書くということ
起筆と収筆が呼応しているか？
4. ハネ・ハライを書く時に識っておきたいこと
ここまで考えてほしい収筆の力加減・空収の距離
5. いたずらに出てしまう絲牽（しけん）を制御する
命毛を出すと品格が下がることを識っておくこと
6. 円筆と方筆が渾然一体となっているか？
相反する二つの性質の物があってこそ良い書となる
7. 白を計って黒を当（お）く、という観点
あなたは余白を観て書いていますか？
8. 筆管を回して書く、ということ
万毫斉力（ばんごうさいりき）の本質
9. 書で一番大切な「修正力」
それを鍛える練習はどうすれば良いか？